

プラチナ未来人財育成塾

未来のリーダーを育成することを目的として開催されている「プラチナ未来人財育成塾」。毎年各中学校の代表生徒を派遣しています。広報きくち10～3月号で参加した生徒の報告書を紹介します。

参加報告

プラチナ未来人財育成塾で学んだ事

菊池北中学校3年 越猪日香理さん



私は今回のプラチナを終えて、多くの事を学びました。中でも特に三つのことが心に深く残っています。一つ目は、たくさんの先生方の講義についてです。有名な先生方の話を聞いて、いろんな視点で物事を考えたり新しく知ることができました。今の日本や世界の課題や未来に向けて私達がすべきことなどを深く考えることができました。一日目は小宮山先生と菊池先生の話を聞きました。国に頼るだけでなく一人一人が行動に移し、多様なことを考えていくためには人にレッテルをはらない。違いを理解することが大切だと感じました。二日目は、白川先生の講義を聞いて、国全体でのGDPが高くて一人あたりのGDPは低いという格差があることが分かりました。社会は皆で信頼しあってつくられています。将来の経験を予測する想像力の必要さがとても身にしました。比屋根先生、山戸先生の講義では未来への取り組み、未来はどうなっていくのかについて考えました。これからどんどん実用化されていくAIに人が負けなように、人だからこぞできることを伸ばしていこうと思いました。また、トヨタの環境への取り組みを聞いてとても驚きました。多くの環境問題と向き合い行動しているトヨタがすごいなと思いました。大企業が取り組

むことで成果も出てくるということがとても良いなと思いました。三日目と四日目は、地球環境について深く学び、自分自身の在り方についても考えることができました。最も印象に残ったのが山田先生と安藤先生の講義です。山田先生の講義では多様な考えを持つとともに少数派の人の意見も取り入れることの大切さが分かりました。そして女性だからこそできることをアピールして自分の道を自分で切り開くために行動していこうと思いました。体調管理や精神コントロールなど自分が良い状態を保つことが良い仕事をする事に繋がるので気をつけようと思いました。安藤先生の講義では「夢をかけて生きる」ということが題材でした。安藤先生の講義はとても面白かったです。実際に自分で考え自分で行動する「独立自尊」を行っていきたいです。たくさんの事を広い目で深く知り自分の熱意を持った所は深く知るといふ考えもあるんだなと思いました。また、最後に見たTEDの動画では一人の変わり者がいたとしても誰か一人でもフォロワーがあればその人はリーダーに変わるといふ考え方がとても面白かったです。二つ目は、SDGs 17についてでいる17個の目標です。三日目のま

学習では、二子玉川のまちづくりの取り組みを見たり聞いたりして環境についての面で考えを深めました。また、班でSDGs 17について考え、他の人達の発表を聞き深く学びました。三つ目は、この五日間での人とのつながりについてです。ほとんどの人が初対面でもとても緊張しました。でも、気軽に接してくれるチューターさんなどとたくさん話し合っていく度に、どんどん仲が深くなり、班の人達などどんどん仲良くなっていけたことがとても嬉しかったです。そして、他の班の人とも友達になったり、お互いに意見を出し合い、考えを深められたことが最も嬉しかったです。最終日には皆と別れるのはとても悲しかったです。でも皆で声をかけ合ったりして今まで学んだことをしっかりと持ち帰ろうと思いました。たくさんの人と関わることでできて本当に楽しかったです。今回のプラチナで、いろんな視点から見ることで、予測することの大切さ・考えを持ち行動に移すことの大切さなど本当にたくさんのことを学ぶことができました。講義をしてくださった先生方・チューターの人達やサポートしてくれた人達に、とても感謝しています。学んだことは絶対に忘れず活かしていきます。このプラチナに参加できて本当に良かったと思いました。

※作文は一部抜粋

プラチナ未来人財育成塾

未来のリーダーを育成することを目的として開催されている「プラチナ未来人財育成塾」。毎年各中学校の代表生徒を派遣しています。広報きくち10～3月号で参加した生徒の報告書を紹介します。

参加報告

よりよい社会をつくるために

旭志中学校3年 みずの あんな 水野杏菜さん



私はプラチナ未来人財育成塾に参加しました。そこでは、これから築いていくべき社会はどのようなものか、プラチナ社会を実現していくために何が大切なのかを学ぶことができました。私は環境問題、特に地球温暖化の事が気になっていました。それを改善するために自分ができることは少ししかないと思っていました。今回、考え方が変わりました。

まず、菊池先生の話に「現在地を把握して目的地をはっきりさせる」というものがありました。自分がどこにいるか分からないと目標が立てられませんし、目的地がはっきりしないと目的地に辿り着くまでの道のりが分かりません。目標を設定し、十年後、二十年後を見据えながら考える。「何でも諦めずに挑戦する」「固定観念を捨てて考える」ということが大切だと言っておられました。自分の目標や夢をはっきりさせること。将来を見据えながら考えること。今自分でできることは少ししかないからと諦めるのではなく、結果は分からないけどやってみること。この三つを心がけて、どんな事にも積極的な「チャレンジ精神」を持って挑戦しようと思います。

次に、安藤先生の話にあった「独立自尊」の精神です。これは、自分で考え、自信をもって行動するとい

うことです。自分で考えることで、責任感が強くなり判断力がつきます。また、自分で行動するには、自分に自信を持たないといけません。私も自分がどんな社会を目指したいのか、その社会を実現するために今何をすればいいのか自分で考え、自信を持って行動しようと思います。

次に、若田先生が話された「五つの集団行動能力」です。まず「コミュニケーション」です。正確な意思疎通、普段から遠慮なく話し合える環境が重要です。次に「チームワーク」です。その構築では、チーム全体で目標を共有し、違いを正しく認識し肯定的に受け入れることや、建設的な意見を言い合える環境づくりが必要です。そして、チームスキルの土台となる「自己管理」です。感情のコントロールを適切に行うことで良好な人間関係に繋がります。さらに「リーダーシップ・フォロワーシップ」です。個人の結果よりチームのベストを第一に考え、自ら率先して困難に立ち向かうのがリーダーです。それを支援するフォロワーがいるからこそチームの総合力が高まります。

最後に「チームへの配慮」です。仲間を思いやる心、細かな気配り、常に先回りしてサポートすることが大切です。今の自分は「チームへの配慮」はできているが、「コミュニケーション

ション」についてはあまりできていません。社会に出たら初対面の人とコミュニケーションがとれないといけませんし、良い社会を作るにはチームで協力する必要があります。今から少しずつコミュニケーション能力をつけたいと思います。

講義後のグループワークでは、同じ班の人やチューターさんと講義の振り返りや、将来自分がどのような立場、役割でどんな社会にするために何をすることを考え、意見や感じたことを互いに交換しました。私は「貧困や飢餓をなくするために寄附をする」という意見を発表しました。しかし、一人が「貧困の国や教育をあまり受けられていない国に直接行って支援する」と発表しました。私は、「一つの課題でも様々な視点で見れば、多様な解決策があることを学び、様々な刺激を受けました。」

私は環境問題を少しでも解決できたらと考えています。人を豊かにするために環境を破壊し、生物の絶滅や地球温暖化などの環境問題が起きていると思います。「自然を守りながら、人が豊かに暮らせる社会」このような社会が私の考えるプラチナ社会です。

※作文は一部抜粋